明日の空へ　SDGs―JALの取り組み―／第148回

宇宙への挑戦と夢『地球人講座 in アメリカ』

現役の宇宙飛行士に質問！

「宇宙ではどのようにお風呂に入ったり、歯を磨いたりするのですか？」「初めて宇宙から地球を見た時、どう思いましたか？」

子どもたちの宇宙への興味と憧れが真っ直ぐに伝わってくる質問は、今年2月に開催された『地球人講座 inアメリカ』で、JAXA宇宙飛行士の星出彰彦さん宛に寄せられたものです。

JALと公益財団法人JAL財団は、国や文化の壁を超え、地球規模で考え行動できる人財の育成を目指し、第一線で活躍する講師にご講話をいただく『地球人講座』を毎年開催しています。今回のテーマは「宇宙への挑戦と夢」。アメリカ、カナダ、メキシコ、ブラジル、アルゼンチンに暮らす日本人の子どもたち（小中高生）とその家族、およそ1400名の方々が、講師を務める星出宇宙飛行士と画面を通じてつながりました。

JAXA宇宙飛行士の星出彰彦さん　提供：JAXA/NASA/Norah Moran

国際感覚を養うヒントに

星出宇宙飛行士はこれまでに3度のミッションで宇宙へ飛び立ち、2021年のISS（国際宇宙ステーション）長期滞在では日本人として2人目の船長を務めた経歴の持ち主です。しかし、宇宙飛行士として活躍するまでには2度の落選という挫折も経験されました。そんな星出さんのお話に子どもたちは興味津々。チャット画面には質問や感想、感嘆のつぶやきが飛び交い、これまで以上に一体感のあるウェビナーとなりました。

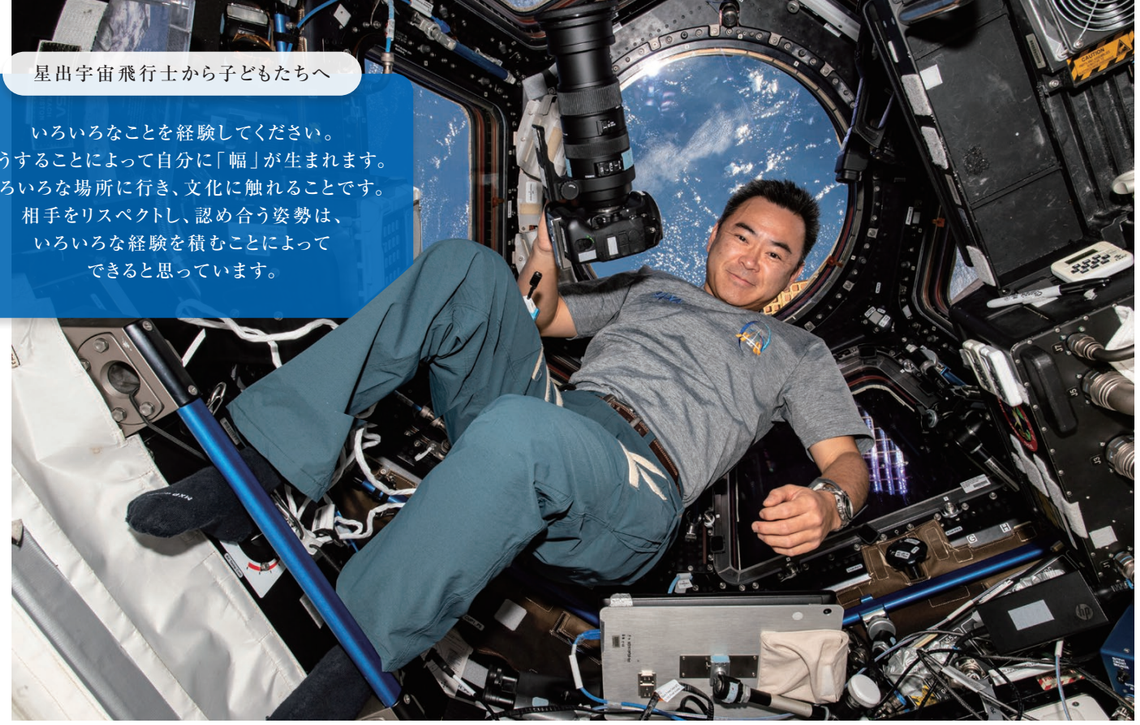
「チャレンジする心を忘れずに、いろいろなことを経験していってほしい」というメッセージに、子どもたちはもちろん、大人の参加者も励まされたようです。

「今の宇宙での活動というのは、国際協力なくしてはできない。国境、国籍、文化の違いを乗り越えてお互いをリスペクトしているから、これだけ困難なミッションを成功に導けている」と語る星出さんの言葉は、日本を離れてアメリカ大陸で暮らす子どもたちがさまざまなバックグラウンドを持つ人たちと付き合う際のヒントにもなったことでしょう。

JAL財団は『地球人講座』をはじめ、未来を担う子どもたちの成長につながる事業を今後も展開してまいります。S

星出宇宙飛行士から子どもたちへ

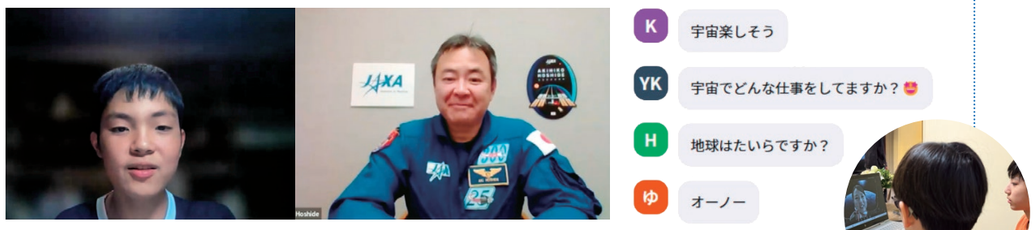
いろいろなことを経験してください。
そうすることによって自分に「幅」が生まれます。
いろいろな場所に行き、文化に触れることです。
相手をリスペクトし、認め合う姿勢は、
いろいろな経験を積むことによって
できると思っています。


2021年のISS長期滞在ミッション中、キューポラにて撮影をする星出さん　※上段および中段写真は全てJAXA/NASA提供

クルードラゴン宇宙船運用2号機（Crew-2）メンバー

ISSから撮影された日本列島の夜景

「ハーモニー」（ISS第2結合部）での作業風景



星出さんに感謝を伝える参加者代表の林拓門さん（左）。参加者はチャットを介して「つながり」を実感！

「飛行機ワークショップ」参加者募集！

JAL会長の赤坂祐二（当時は整備本部長）の賛同に後押しされて始まった、東京大学生産技術研究所次世代育成オフィスとJALによる中高生向け教育活動「飛行機ワークショップ」。「学校での勉強が（受験やテストのためでなく）社会でどのように応用されているか」を「現地・現物・現人」で見て肌で感じてもらうことを目的としています。10周年となる今年は「空のサステナビリティを考えよう！」をテーマに、11月に開催予定です。ご応募お待ちしています。

今回のテーマに該当する目標

JAL財団 Instagram 始めました!

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2015年9月、全国連加盟国（193カ国）により「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals: SDGs）」が採択されました。2030年までに、貧困や気候変動、平和的社会などの17の目標を達成すべく、JALグループも社会の課題解決に取り組んでいきます。